

# 秋田県医師確保計画の概要について

医療人材対策室

## 計画策定の趣旨

医療法の規定により、厚生労働省が定める方法により算定した医師偏在指標※に基づき、三次医療圏間及び二次医療圏間の偏在是正に向けた医師確保対策等を計画として定める。

## 計画の位置づけ・計画期間

医療計画の一部として位置づけ、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とし、以降3年ごとに計画の見直しを行い、令和18(2036)年度までに医師偏在是正を達成することを長期目標とする。

## 計画の全体像

1. 医師偏在指標に基づき、三次医療圏として医師少数・多数都道府県を設定。
2. 二次医療圏のうちから医師少数区域・多数区域を設定。
3. 設定に応じて、医師確保の方針及び目標医師数、目標医師数を達成するために必要な施策を定める。
4. 産科・小児科についても医師確保の方針や施策を定める。

## 区域の設定・基本方針

### ●三次医療圏

本県は医師少数県であり、医師の増加と地域偏在の是正を方針の基本とする。

### ●二次医療圏

#### ・県央医療圏

→医師多数区域であり、医師の現状維持を方針の基本とする。

#### ・県北医療圏・県南医療圏

→医師少数区域であり、医師の増加を方針の基本とする。

※医師偏在指標:全国ベースで医師の多寡を統一かつ客観的に比較・評価するために、地域ごとの医療ニーズ、人口構成や患者の流出入、医師の性別・年齢分布等を考慮し、国が算定する指標。指標の上位1/3を医師多数区域(県)、下位1/3を医師少数区域(県)として区分。

【算定式】医師偏在指標＝標準化医師数／(地域の人口(10万人)×地域の標準化受療率比)

# 秋田県医師確保計画の概要について

## 本県の医師偏在指標等

医療圏名	医師偏在指標	医師偏在指標(下位33.3%相当値)	順位 (位)	医療施設 従事医師数 (2020/12/31) (人)	標準化 医師数 (人)	地域の 標準化 受療率 比	地域の人口(10万人)		目標 医師数 厚労省 算定値※ (2026年) (人)	目標 医師数 計画値 (2026年) (人)
							2021/1/1 時点	2026/10/1 推計		
全国(参考)	255.6			323,700	323,700	1.000	1,266.5	1,218.6		
秋田県	199.4	228.0	41/47	2,328	2,334	1.205	9.71	8.71	2,401	2,401
県北	142.0	179.3	306/330	357	360	1.176	2.15	1.86	390	390
県央	243.4		80/330	1,492	1,484	1.257	4.85	4.46	1,027	1,492
県南	159.6		268/330	479	491	1.134	2.71	2.38	476	479

※策定ガイドラインにおいて、計画期間中に医師偏在指標の下位1/3に達するために必要な医師数を「目標医師数」と定義し、厚労省が算定した値

## 医師少数スポット

県央医療圏に、医師少数スポットを設定

男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村、由利本荘市、にかほ市

※医師少数スポット:医師確保計画は、二次医療圏・三次医療圏単位での医師の確保を重点的に推進するものであるが、より細かい地域の医療ニーズに応じるため、局所的に医師が少ない地域を『医師少数スポット』として定め、医師少数区域と同様に取り扱うことができる。

## 産科・小児科に係る医師確保計画

産科・小児科の医師偏在指標では、本県は高い順位にあるが、広い県土の医療の均てん化と、チーム医療の推進等による質の高い医療提供体制の整備を進めるため、医師の育成及び確保に努めることとする。

# 秋田県医師確保計画の概要について

## 目標の達成に向けた施策

### ● 県全体として取り組む施策

#### 1. 若手医師の地域循環型キャリアアップシステムの充実

医学生への修学資金貸与、あきた医師総合支援センターによるキャリア形成支援 等

#### 2. 医師の労働環境等改善

女性医師や若手医師のライフステージに配慮した働き方支援、タスクシェア・タスクシフト推進に向けた人材養成支援 等

#### 3. 将来の医療を支える裾野の拡大

医学部進学者増加に向けた中高生への魅力発信、研修医の確保・定着支援 等

#### 4. 県外からの医師確保

病院合同説明会の開催、積極的な情報発信 等

#### 5. 総合的な診療能力を有する医師の養成・確保

秋田大学と協力した総合診療科専門医の育成強化、総合的な診療を支える多職種連携支援 等

### ● 二次医療圏において取り組む施策

県北医療圏：県外大学への寄附講座設置等による連携強化

県央医療圏：二次医療圏内医師少数スポットへの医師派遣機能の強化

県南医療圏：東北医科薬科大学の地域医療実習等を通じた定着支援

